

特集①) 首都圏版:お客様意識調査 (2025年4月調査)
～世界経済の不透明感・変動金利上昇の中、購買行動は如何に～

P.1～16

■■ 2025年4月:特集レポートダイジェスト ■■

特集①) 首都圏版:お客様意識調査 (2025年4月調査)
～世界経済の不透明感・変動金利上昇の中、購買行動は如何に～

米国の関税政策等により世界経済の動向や、住宅ローンの変動金利上昇の影響が注目される中、2025年4月調査では、「景気動向」は大きく落ち込みがみられたが、「金利」や「マンション価格」の先高感は一引き続き高水準維持となり、具体的な検討層ほど、関税の影響から、“今後は建築費の上昇により、価格が上昇する”や“住宅のグレードが下がる”等との見方も聞かれ、買い時感は一改善。本レポートでは、定点項目【景気・金利・マンション価格・住宅の買い時感】の他、下記トピックスについて調査し、今後の動向について考えました。

<TOPICS>

- ・景気の判断項目、トランプ政権の関税強化策の自身の住宅購入への影響
- ・2025年:賃上げの状況・所得の見通し
- ・金利が上昇した場合の対応について
「月々支払い額アップの許容範囲」「住宅ローンの金利選択(変動or固定)」
「入居時期に関する意識」等

特集②) 供給が集中しているエリアでの販売中物件事例、及び価格上昇におけるターゲット変件事例

P.1～13

特集②) 供給が集中しているエリアでの販売中物件事例、及び価格上昇におけるターゲット変件事例

マーケット動向を沿線別・駅別に検証すると、都心10km圏以遠においても、販売中物件が集中しているエリアが確認された。本レポートでは、そうしたエリアについて、供給動向、商品企画、購入者属性等について検証し、販売が好調・堅調な要素について考えました。

- 各種定点項目の結果ダイジェスト・本人年収別の傾向
- 【TOPICS: I】 「景気の判断項目」・「最近の動向と自身への影響」
- 【TOPICS: II】 賃上げの状況・2025年の所得の見通し
- 【TOPICS: III】 今後、「金利」が上昇した場合の影響について
- 【まとめ】

■ 首都圏:駅別の販売中及び予定物件棟数MAP

<検証エリア>

- ・【中央線:「荻窪」～「三鷹」駅、特に吉祥寺駅】
- ・【東武東上線「大山」～「成増」駅、特に上板橋駅】
- ・【総武線:「秋葉原」～「両国」駅】